

新規事業採択時評価結果(平成30年度新規事業化箇所)

担当課 : 基盤整備部 建設課  
担当課長名 : 小木曾 寿之

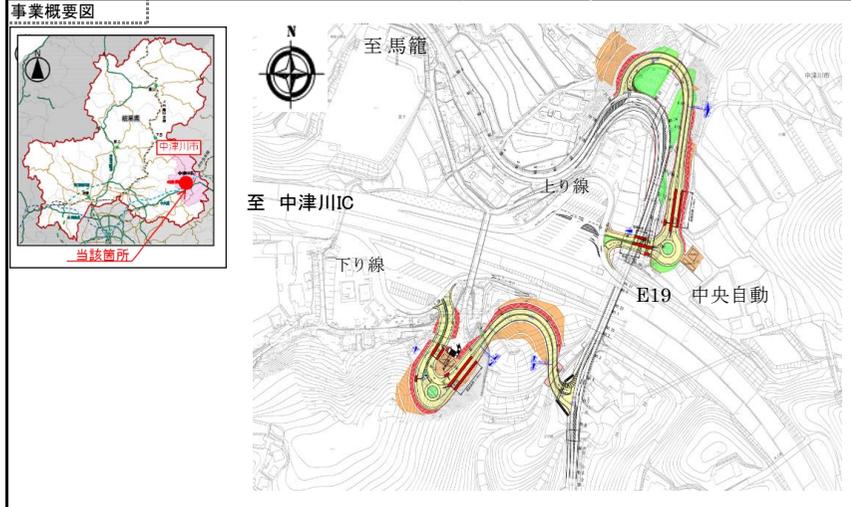
事業の概要

事業名	スマートICアクセス道路 (市)神坂44号線	事業区分	市町村道	事業主体	岐阜県中津川市
起終点	自: 中津川市神坂字小森1967番地先 至: 中津川市神坂字向小森1429番地43地先	延長	1.09km		

**事業概要**  
市道神坂44号線は、中央自動車道西宮線神坂PAに設置されるスマートICと県道中津川南木曾線を繋ぐ道路であり、中央自動車道西宮線へのアクセス性向上により多面的な効果が期待できる。

**事業の目的、必要性**  
周辺地区からの利便性向上と代表観光地「馬籠宿」や下呂温泉へのアクセス時間の短縮、観光客の増加が期待できるとともに、第3次救急医療施設である県立多治見病院や飯田市立病院への搬送時間が短縮し、地域の医療サービスが向上され、さらに国道19号における大雨や土砂災害等による通行規制の危険性がある区間を回避する新たな代替ルートを確認することができる。

全体事業費 : 約1.5億円      計画交通量 : 1,200台/日



関係する地方公共団体等の意見

学識経験者等の第三者委員会の意見  
事業評価会を実施 (H30.1.26) 特に意見なし。

事業採択の前提条件  
費用対便益 : 便益が費用を上回っている。  
手続きの完了 : 市道認定 (H29.9.25)

事業評価結果

費用対便益	B/C	4.2	総費用 : 11.9億円 事業費 : 10億円 維持管理費 : 1億円	総便益 : 50億円 走行時間短縮便益 : 44億円 走行費用減少便益 : 4億円 交通事故減少便益 : 1億円	基準年 : 平成29年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= - (交通量+10%)	B/C= - (交通量-10%)		
		事業費変動	B/C= - (事業量+10%)	B/C= - (事業量-10%)		
		事業期間変動	B/C= - (事業期間+20%)	B/C= - (事業期間-20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	神坂PA西部における国道19号および国道257号は、観光シーズンには交通渋滞となっており、また降雪時における通行可能な幹線道路が限定されるなど交通需要に課題があり、神坂スマートICアクセス道路である当該道路の整備により、交通分散や迂回ルートの構築による渋滞解消が図られる。		
		事故対策	◎	当該道路整備により、周辺生活道路との差別化が図られ、目的に応じた道路の使い分けができ周辺道路での事故抑制に期待できる。また、恵那山トンネルの近くに位置することから、緊急時における高速道路外への避難や災害復旧車両の進入ルートとして重要な施設となる。		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	第3次救急医療施設「県立多治見病院」「飯田私立病院」への搬送時間が短縮される。 馬籠宿から県立多治見病院への搬送時間: 約12分短縮 馬籠宿から飯田市立病院への搬送時間: 約24分短縮		
		地域経済	◎	代表観光地「馬籠宿」への観光客の利便性が向上し、滞在時間が増加すれば、周遊観光や広域観光を支援できる。		
		災害	◎	国道19号および国道256号における大雨や土砂災害等による通行規制の危険性がある区間を回避する新たな代替ルートの確保ができる。		
環境		—	注目すべき影響はない。			
	地域社会	○	中央自動車道路へのアクセス性が向上し、周辺観光地を回遊する観光ルートが形成され、観光客の増加が期待できる。			
事業実施環境	○	H29.12: 測量調査設計発注 地元説明会 (H28.12.25、H28.12.28、H29.8.25)				

採択の理由